T-2104011

組立・施工・取扱説明書

お客様保管用　DCA-PV2880　Jagram パビリオン

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

安全記号	
⚠ 警告	●取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。
⚠ 注意	●取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。
一般記号	
ポイント	●組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。 ●注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性がある内容を示しています。

組立・施工上のご注意

警告

●風の強い場所、積雪の多い地域や地盤の弱い場所での施工には、控え柱等の補強が必要です。
特に柱の固定を確実に行ってください。転倒など事故の原因となります。
●屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
●お子様が踏み台として使用し、転落事故につながる場所への設置は絶対にしないでください。
●取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。
現場の地盤状態に合った基礎部の寸法（体積）にて施工し、安全を確保してください。

注意

●組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。
高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
●工具、器具、保護具（作業服、保護帽、安全靴、安全帯、その他作業者身体の保護具）などは、
安全機能を十分に確認し、正しく使用してください。また不具合のあるものは使用しないでください。
●大型商品は、安全に組み立てるため、施工は2人以上で行ってください。
●安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
●組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず本説明書を読み、説明書に従ってください。
●必ず取扱説明書に従って正しく施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、
商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
●梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
●設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
●給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所には設置しないでください。
●出入口や通路など、通行の妨げになる場所には設置しないでください。
●給排水管などの地下埋設物に影響を与えないか位置を確認してから施工してください。
●防犯上、不審者が踏み台として使用し、侵入が容易になるような場所には設置しないでください。
●高台、強風地域、特にがけの上、屋上、風の通り道などへの設置は避けてください。
●風の強い場所では、商品の周囲に十分な空間を確保してください。周囲を囲うと商品に予想以上の風圧がかかり、破損、倒壊の可能性があります。
●水はけの悪いと思われる場所には設置しないでください。
●常に水や温水に触れたり水没する場所、また温泉やそれに類する水質に触れたり水没したりする場所には設置しないでください。
●振動、衝撃のある場所には設置しないでください。商品の破損、倒壊につながります。
●大気中に強い酸やアルカリ成分が多く含まれる場所には設置しないでください。商品の性能が低下する可能性があります。
●給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると、劣化や火災、破損の原因につながりますので、熱の影響のない場所か確認してください。
●商品は、平坦地に設置してください。傾斜地に設置すると、ゆがみやガタツキが生じる恐れがあります。
●基礎は安全のため必要な強度を十分確保してください。
●組み立て、施工時は、商品にキズがつかないように十分注意してください。
●組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数（当社指定純正品）を確実に締め付け、固定してください。

組立・施工上のご注意

注意

●商品の切り口に、ささくれ、切断時のバリが残っている場合があります。手などにケガをしないように、
お取り扱いには十分注意してください。また施工後は、ささくれ、バリを取ってください。
●組み立て、施工時、商品にコンクリート（またはモルタル）の抽出液が付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性のため、
施工後シミ、ムラなどが発生し、外観不良の原因になります。付着した場合は、速やかに水を含ませた布などでふき取ってください。
●コンクリート、モルタルに木材が直接触れると変色する可能性があります。すき間をあける等の対策をしてください。
●部材の切断時に切り粉を吸い込まないように注意してください。
●塗料の使用時には、塗料に記載されている注意事項を厳守してください。
●組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
●施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、素材別に分けた上で専門業者に処理を委託してください。
●構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
●積雪のある地域では、雪により商品が倒壊しても危険がない場所に設置してください。
●凍上する可能性のある寒冷地に設置する場合は、必ず凍上線の下まで基礎部を確保するように施工してください。
●商品の改造は絶対にしないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
●安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
●誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず取扱説明書はお施主様にお渡しして、取り扱いの注意、メンテナンスについて説明してください。

使用上のご注意

警告

●商品の近くで火気を使用しないでください。熱の影響により、商品の変形や火災の原因になります。
●運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対にしないでください。
●経年変化による木の痩せが生じた際にボルト、ナット、ビスのゆるむ場合がありますので、
半年に一度の割合で、各部品の締まり具合を点検してください。

注意

●この商品は、人がくつろぐ目的で設置するものです。目的以外の使用は絶対しないでください。
●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、荷重を与えると破損、倒壊事故の原因になります。絶対にしないでください。
●無理な荷重をかけないでください。商品の上で飛んだり、跳ねたりしないでください。ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。
●局部的に重い物をのせたり、立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。ボールなど投げつけたりしないでください。
●安全性の高い材料を使用しておりますが健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、かじったりしないように注意してください。
●商品の切り口に切断時のささくれが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。
手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。発見した場合は放置せず、施工店様に連絡してください。
●商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。商品の性能が低下する可能性があり危険です。
●定期的に接合部のチェックを行い、ボルトや木ビス等のゆるみがあれば締め直しを行ってください。
お施主様でできない場合は、施工店様に依頼し必ず直してください。
●完全な防雨性能はございません。雨水等が浸入する可能性がありますのでご注意ください。
●雨の後などで濡れた状態でご使用になると、樹液などが表面に染み出して衣服等を汚す場合がありますので、十分注意してください。
●積雪のある地域では、必要に応じて早期に除雪してください。
●商品が破損したり、グラつく場合は、すぐに施工店様に連絡してください。破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。
●年数の経過により割れや腐食がひどくなった場合は、安全面を考えて使用を中止し、解体処分してください。

天然木製品に関するご注意

注意

当商品は天然木材を使用しており、その特性から避けられない下記のような現象が生じますので、ご了承ください。
●使用する材の色の違いにより、商品に個体差が生じる場合があります。
●紫外線や雨による色あせ、ヤセや割れといった経年変化が生じますが、防腐性能等に影響はありません。
●天然木製品は、経年変化、気象条件により、伸縮や膨張することがあります。
●松材を使用している商品は、材の特性上、内部から松ヤニが防腐防蟻剤とともに表面に現れ、
緑色のシミになる場合がありますが、そのままお使いいただいても差し支えありません。このシミを消すことはできないことをご了承ください。
●同じ出荷ロットでも色の固体差が生じますが、性能には問題ありません。色味や年輪の幅など、
個体差により外観上に相違が生じる場合がありますが、これは樹木の生育環境や乾燥具合により生じる違いであり、
時間とともになじみます。個体差による若干の色ムラをなくすことはできないことをご了承ください。
●木材の特性上、通常の天然木材にも見られる表面のカケ、ささくれ、入り皮、割れ、若干の反りが生じる場合があります。特に柱に関して、割れたものと割れていないもので強度に差はないことが試験機関により証明されています。木製品の特性上避けられない現象であることをご了承ください。
●ささくれなどが生じた場合は、ケガ防止のため、速やかにヤスリがけやサンドペーパーによる処理、木製品用パテによる補修を行ってください。
●経年変化により表面に細かい割れが生じる場合がありますが、強度に大きな影響はありません。
●使用強度上、差し支えのない範囲で（貫通していない）ヒビが生じる場合があります。
●雨や紫外線による色あせ、含水率減少によるヤセや割れといった経年変化が生じます。
長く使っていただくために、定期的なメンテナンスをおすすめします。
●天然木製品は雨等により、樹液や防腐防蟻剤が漏れ出す可能性があります。塗り壁化粧材やブロック、床面などにシミ状の汚れを引き起こす可能性がまれにあります。特に薄い色の塗り壁の場合は汚れが目立ちますので、可能な限りそのよう場所への施工を避けていただくか、濃い色味の塗り壁材をご選択いただくなどの対処をお願いいたします。製造において十分な管理をしていますが、天然木製品の特性上、避けられない現象ですのでご了承ください。

お手入れ方法・塗装に関して

●いつまでもより美しくご使用いただくためにも1年を目処に、木材保護塗料の塗り替えをおすすめします。
●木材保護塗料を塗る場合は、施工店にご相談いただくか、市販の木材保護塗料をご購入のうえ、ご自分で塗り替えてください。
●ご自分で塗り替えを行う場合には、各塗料に掲載されている注意事項を厳守してください。
●塗り替える前には商品を水洗いし、よく乾かしてから塗装してください。
●必ずハケで塗装してください。その後乾いた布でふきとると、仕上がりが良くなります。
保護塗料には薬品が含まれているので、スプレー塗装は避けてください。
●木の通気性を損なう種類のニスやペンキによる塗装は絶対に避けてください。木材内部の水分が発散されないため、
内部で腐食する恐れがあります。

廃棄について

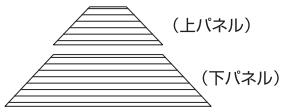
ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、産業廃棄物（安定型）になりますので、
各地域の条例等に従って正しく処分してください。

部品の確認

※下表をご参照のうえ、各部材、部品の有無を確認してください。
※表中の記号は、本文中の組立図の記号と対応しております。

◆パビリオン 梱包明細

記号	品名	姿図	数量
a	柱		4本
b	梁補強材		4本
c	垂木（コーナー）		4本
d	垂木（センター）		4本
e	筋交（左）		4本
f	筋交（右）		4本
g	梁		4本
h	トップ飾り		1個

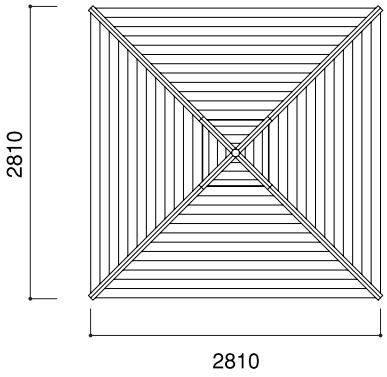
記号	品名	姿図	数量
i	ルーフケージ		1個
j	屋根パネル		4組
k	屋根おさえ		4本
l	水切		4本

◆連結用 部材

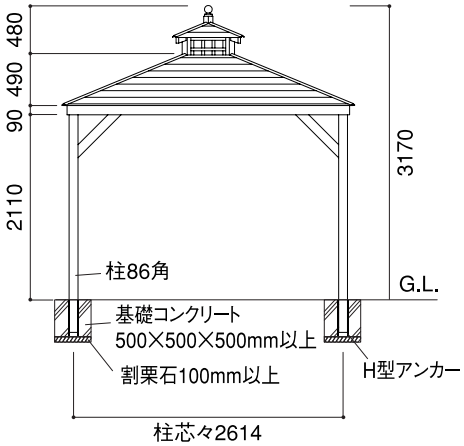
名　称	姿　図	数　量
ビス 75mm		24本
ビス 45mm		36本
ビス 57mm		24本
釘 32mm		132本

※別途、シリコンを現場用意してください。

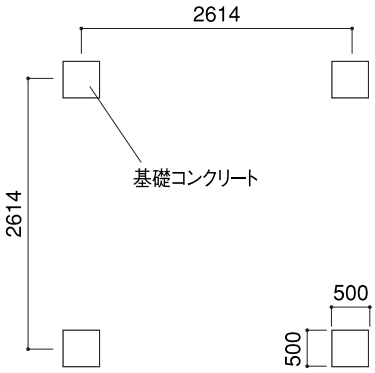
基本寸法図



※H型アンカー使用時の寸法表記になります



【基礎】

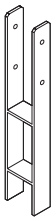


地中埋込金具の使用について

地面に含まれる水分と柱との接触を避けることで、強度や寿命を高めることができます。柱を立てる際は、専用の地中埋込金具のご使用を推奨いたします。

①地中埋込金具を使用する際は、現場の状況に合わせて、柱をカットして、高さを調整してください。

②柱には、埋込金具と柱を固定するための六角ボルトを貫通させる穴があいていません。現場にてφ12程度の穴あけ加工をしてください。



90角木製柱用
H型アンカー（別売）

組立・施工

❶ 基礎の施工と柱の設置

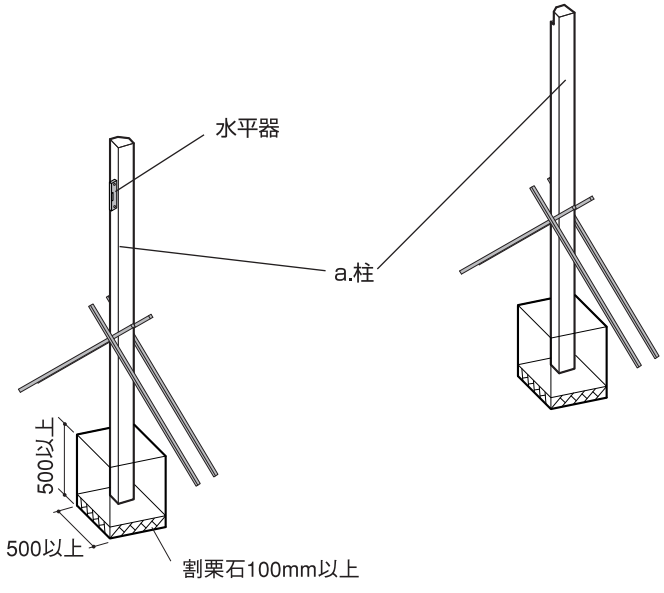
①上記の基本寸法図を参照し、柱位置に合わせて基礎を掘ります。

②あらかじめ、柱位置に合わせて掘った基礎に柱（a）を入れて立て、仮押さえ用の木材で仮押さえをし、水平器で水平・垂直を確認してください。

ポイント

○柱（a）はH型アンカー（別売）を使い、地中に埋め込み、確実に固定してください。

○あらかじめ必要な長さに、柱を切断してください。H型アンカー（別売）を使用する場合は、取り付けてください。

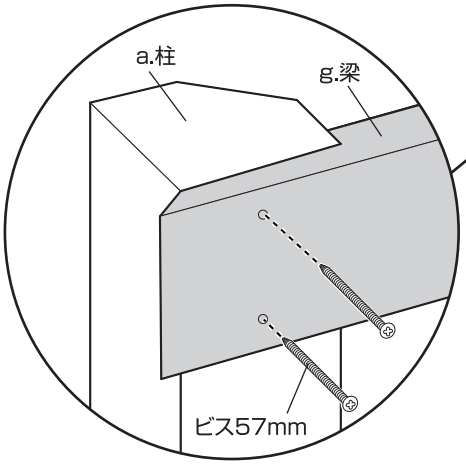


組立・施工

❷ 梁の取り付け

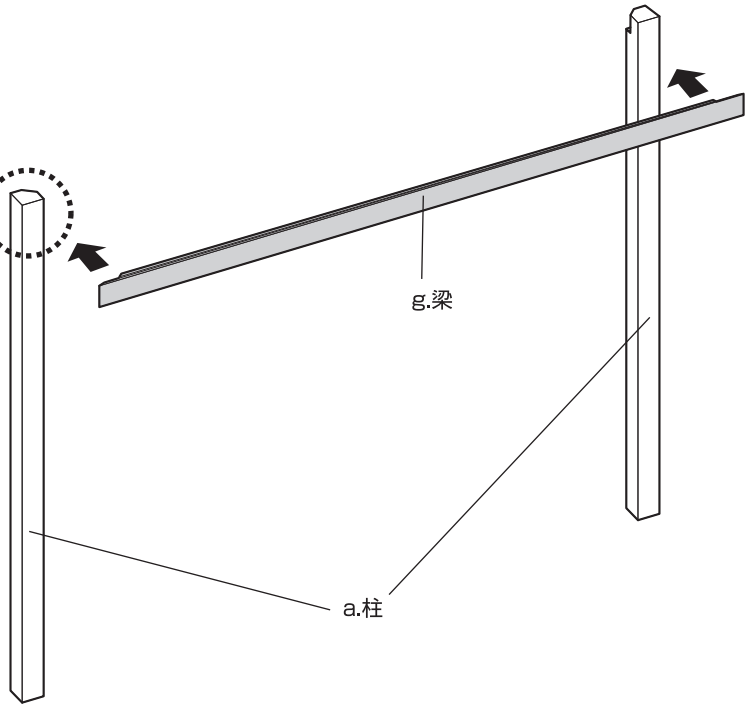
①梁（g）を柱（a）の上部にビス57mmで固定します。
（2カ所ずつ計4カ所）【図Ⓐ】

②同様にもう1組、組み立てます。



梁（g）の凹部を柱（a）にはめ込み、固定してください。

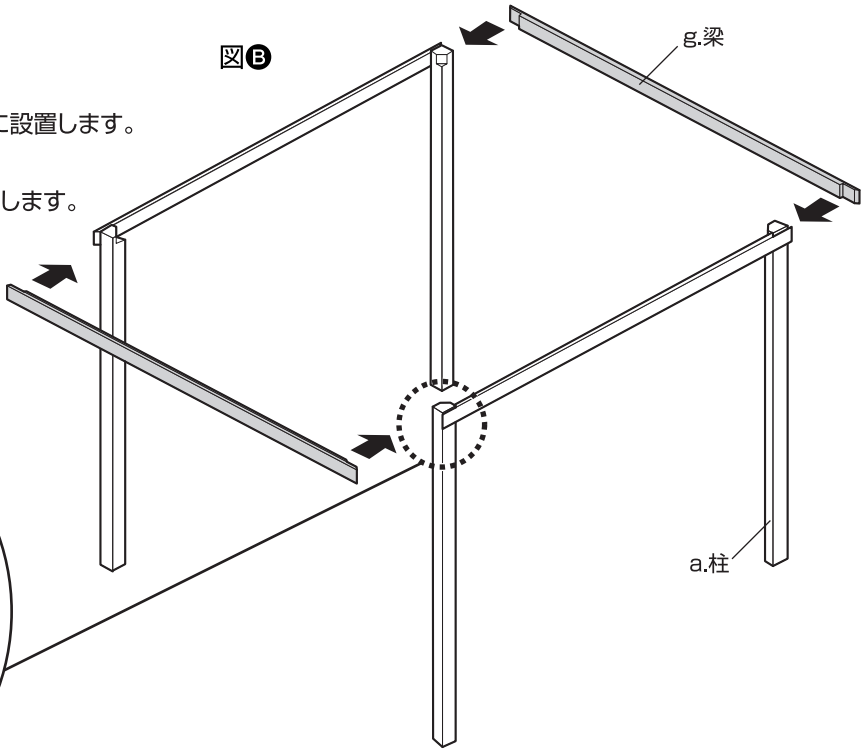
図Ⓐ

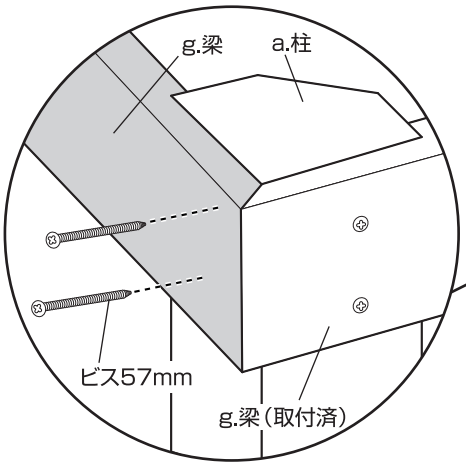


③組み上がった柱（a）と梁（g）を向かい合わせに設置します。
※梁（g）が外側になるように設置してください。

④柱（a）の側面から梁（g）をビス57mmで固定します。
（2カ所ずつ計4カ所）【図Ⓑ】

図Ⓑ





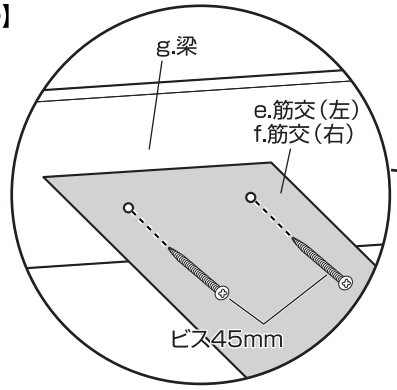
梁（g）の凹部を柱（a）にはめ込み、固定してください。

組立・施工

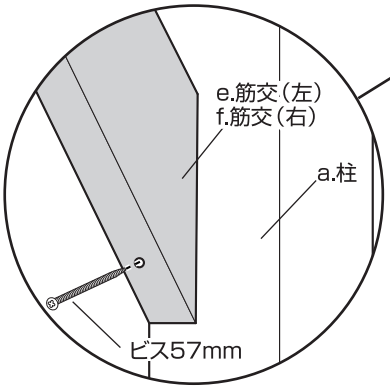
❸ 筋交の取り付け

①筋交・左（e）、筋交・右（f）を柱（a）と梁（g）の内側に取り付けます。梁（g）側はビス45mmで2カ所、柱（a）側はビス57mmで1カ所固定します。

【図Ⓒ】

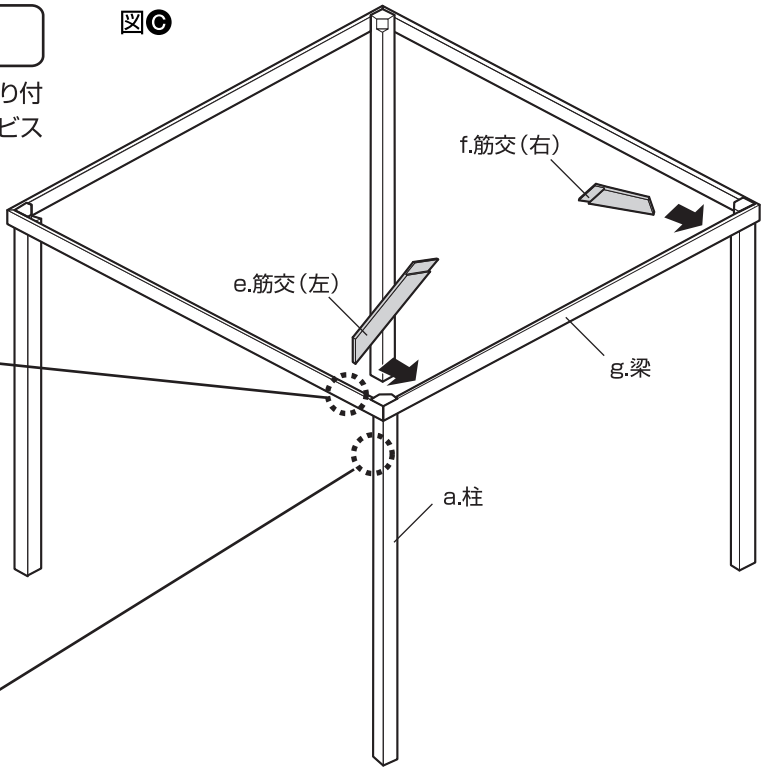


筋交・左（e）、筋交・右（f）の凹部を梁（g）の内側にはめ込み、固定してください。



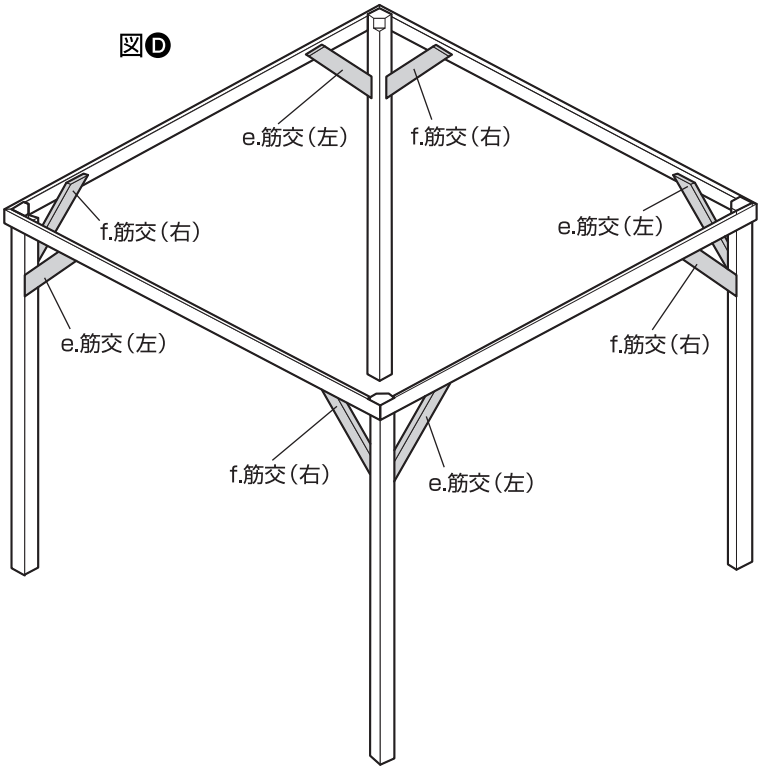
筋交・左（e）、筋交・右（f）の平らな面を柱（a）の内側に合わせ、固定してください。

図Ⓒ



②同様に、すべての筋交・左（e）、筋交・右（f）を取り付けます。
（計8カ所）【図Ⓓ】

図Ⓓ

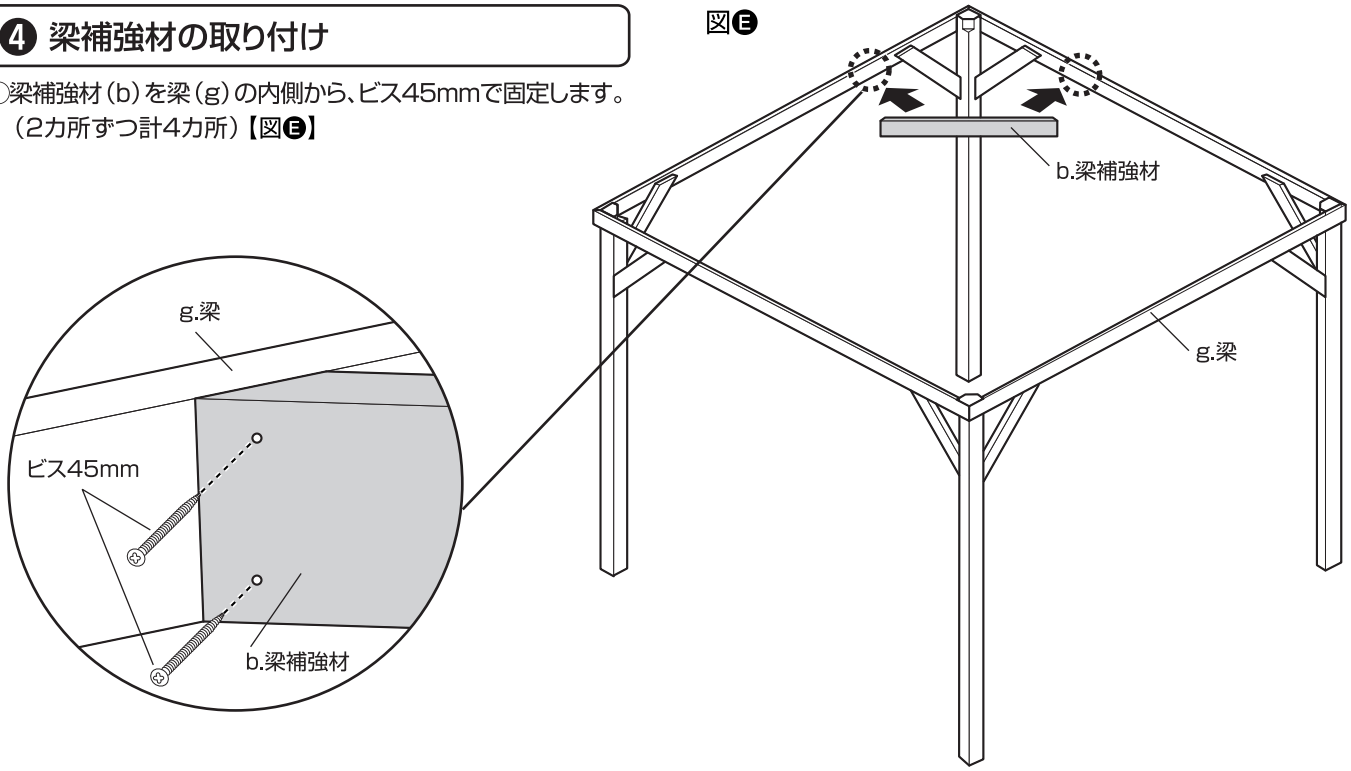


組立・施工

❹ 梁補強材の取り付け

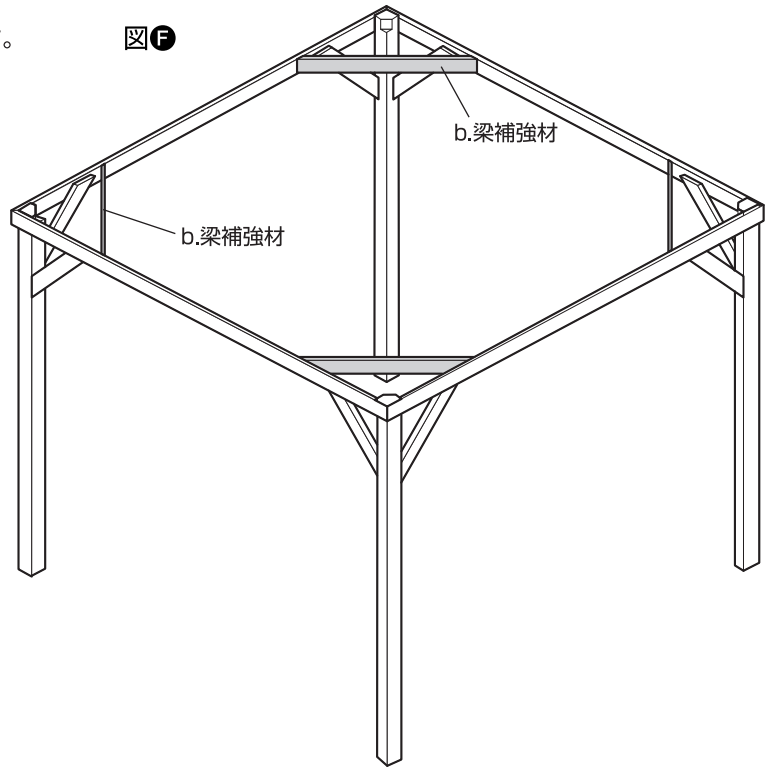
①梁補強材（b）を梁（g）の内側から、ビス45mmで固定します。
（2カ所ずつ計4カ所）【図Ⓔ】

図Ⓔ



②同様に、すべての梁補強材（b）を梁（g）に取り付けます。
（計4カ所）【図Ⓕ】

図Ⓕ

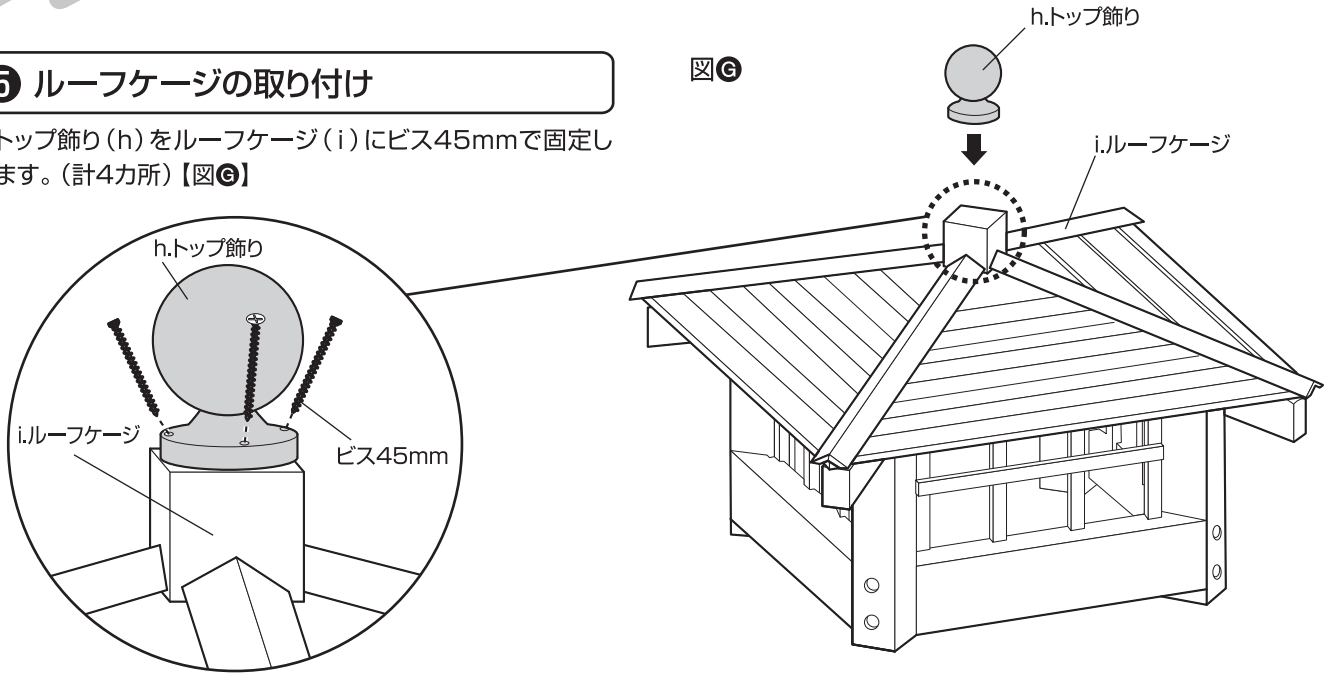


組立・施工

❺ ルーフケージの取り付け

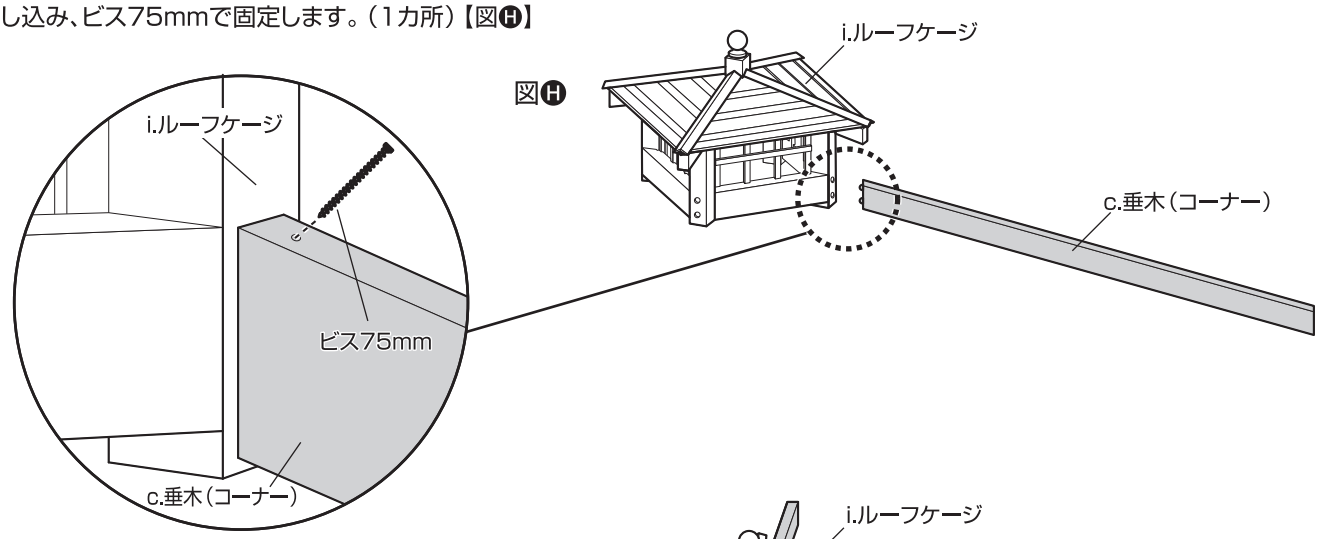
①トップ飾り（h）をルーフケージ（i）にビス45mmで固定します。（計4カ所）【図Ⓖ】

図Ⓖ



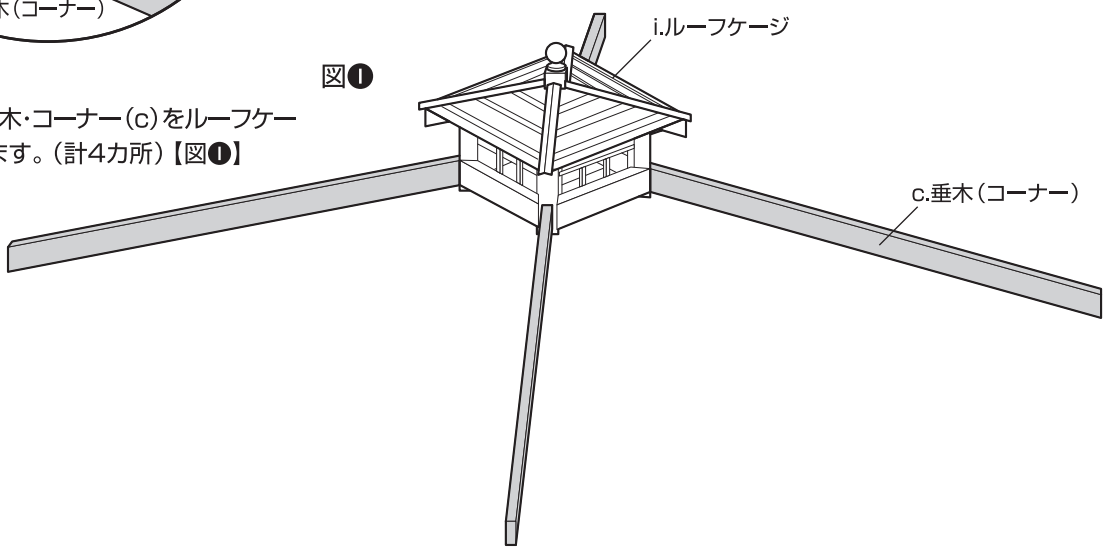
②垂木・コーナー（c）のホゾをルーフケージ（i）のホゾ穴に差し込み、ビス75mmで固定します。（1カ所）【図Ⓗ】

図Ⓗ



②同様に、すべての垂木・コーナー（c）をルーフケージ（i）に取り付けます。（計4カ所）【図Ⓘ】

図Ⓘ

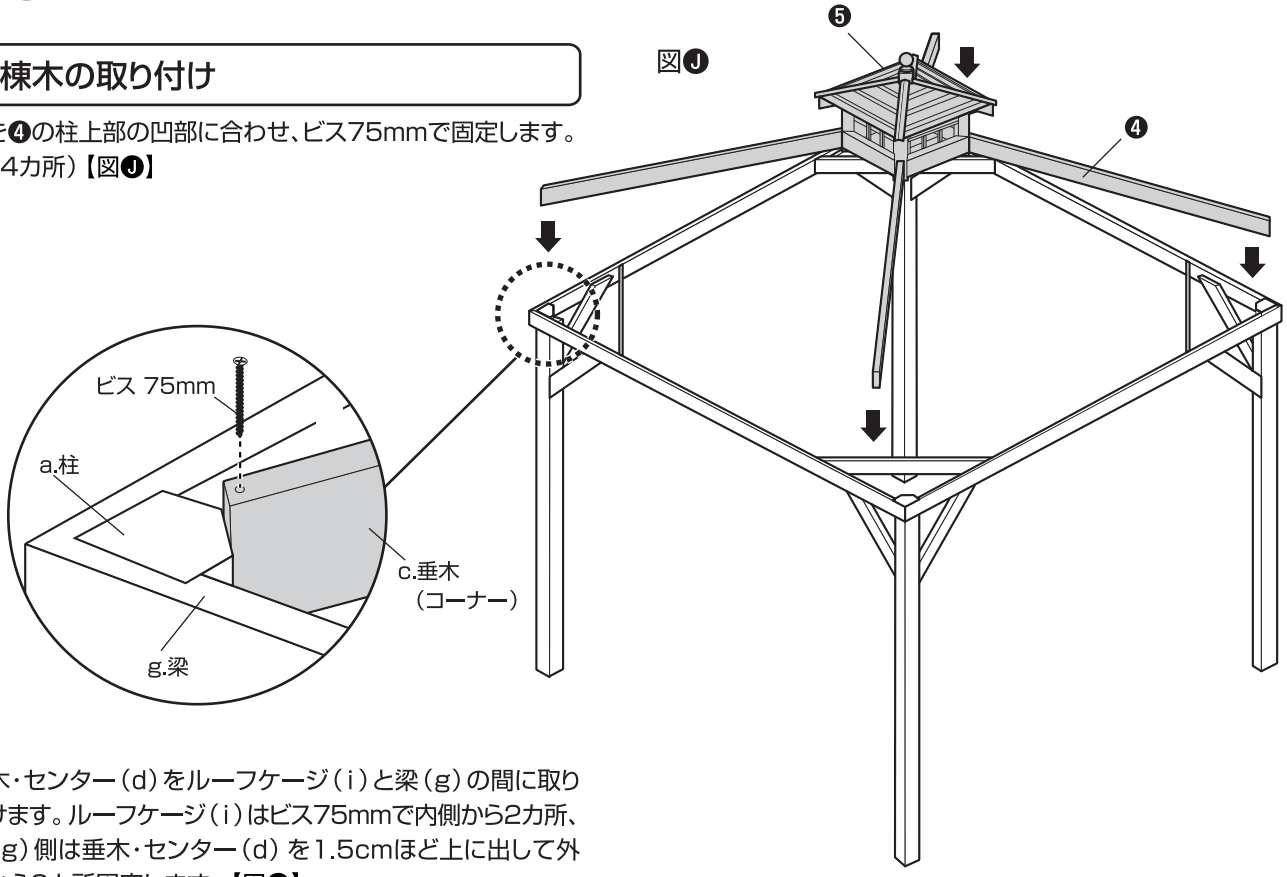


組立・施工

❻ 棟木の取り付け

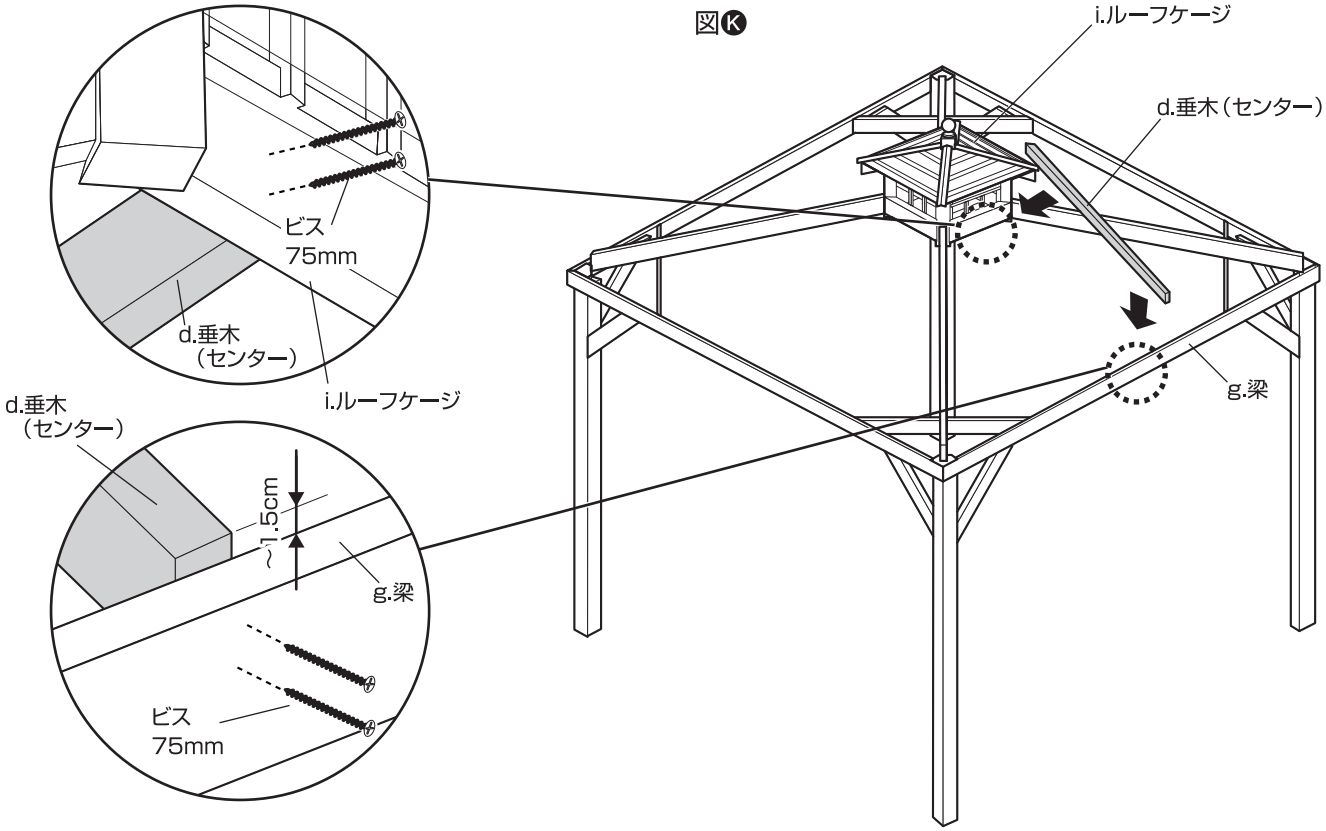
①❺を❹の柱上部の凹部に合わせ、ビス75mmで固定します。（計4カ所）【図❶】

図❶



②垂木・センター（d）をルーフケージ（i）と梁（g）の間に取り付けます。ルーフケージ（i）はビス75mmで内側から2カ所、梁（g）側は垂木・センター（d）を1.5cmほど上に出して外側から2カ所固定します。【図❷】

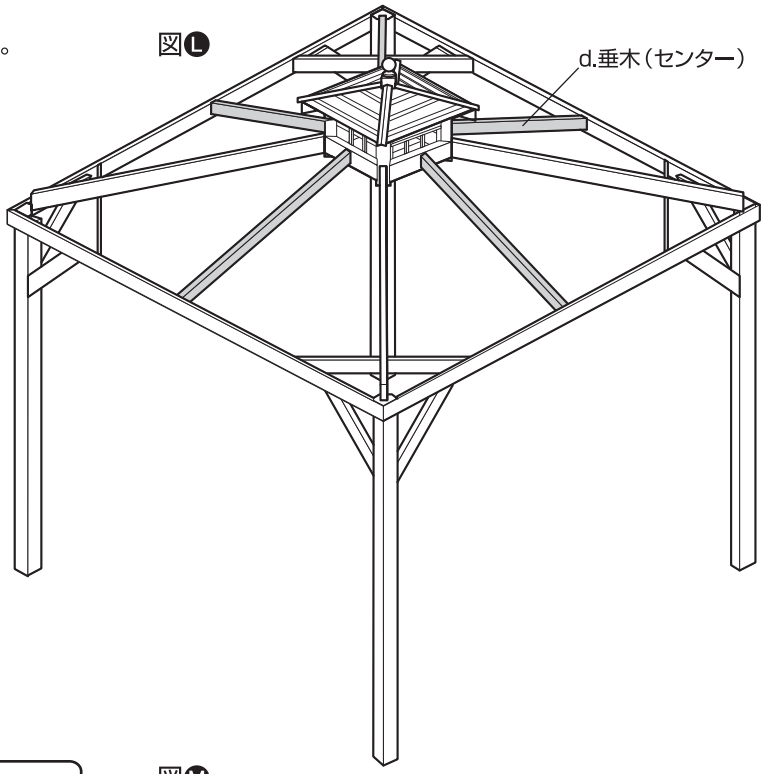
図❷



組立・施工

②同様に、すべての垂木・センター（d）を取り付けます。
（計4カ所）【図Ⓛ】

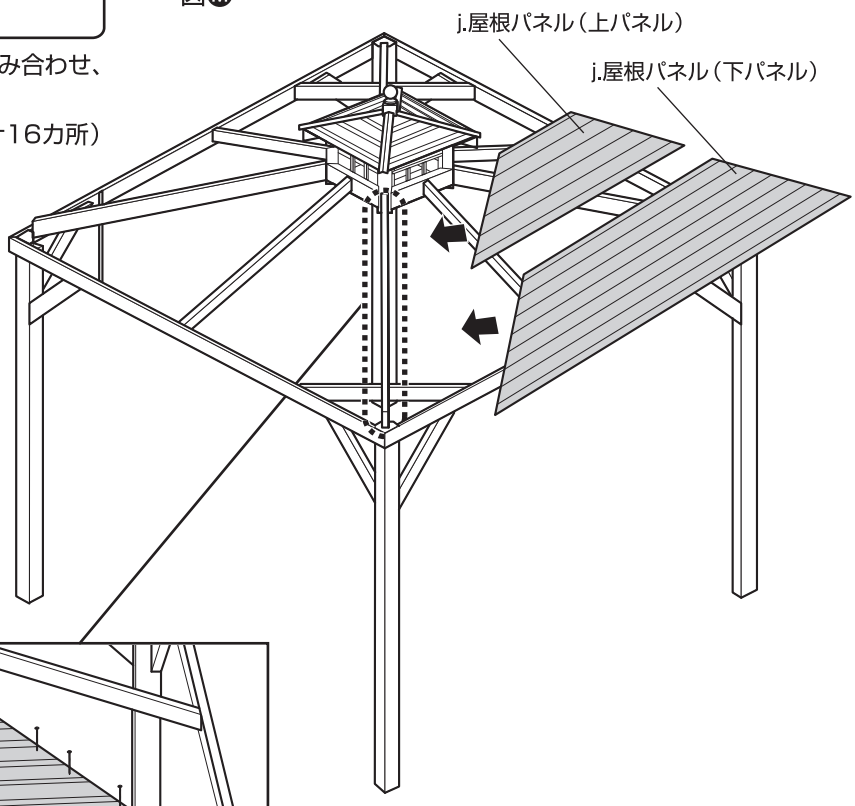
図Ⓛ

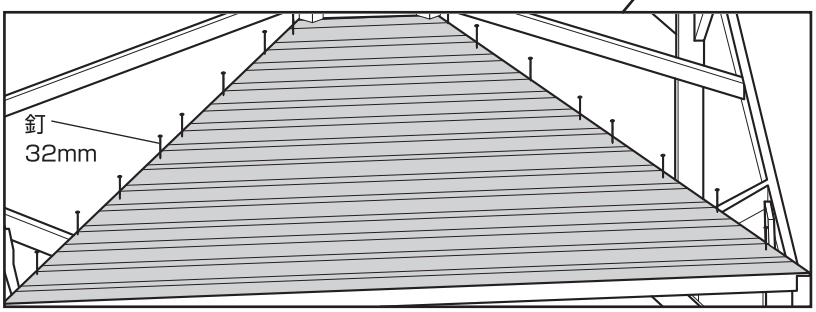


❼ 屋根パネルの取り付け

①屋根パネル（j）の上パネルと下パネルの凹凸を組み合わせ、
屋根の形に沿って釘32mmで固定します。
（1辺につき8カ所、屋根パネル（j）・1組につき計16カ所）
【図Ⓜ】

図Ⓜ

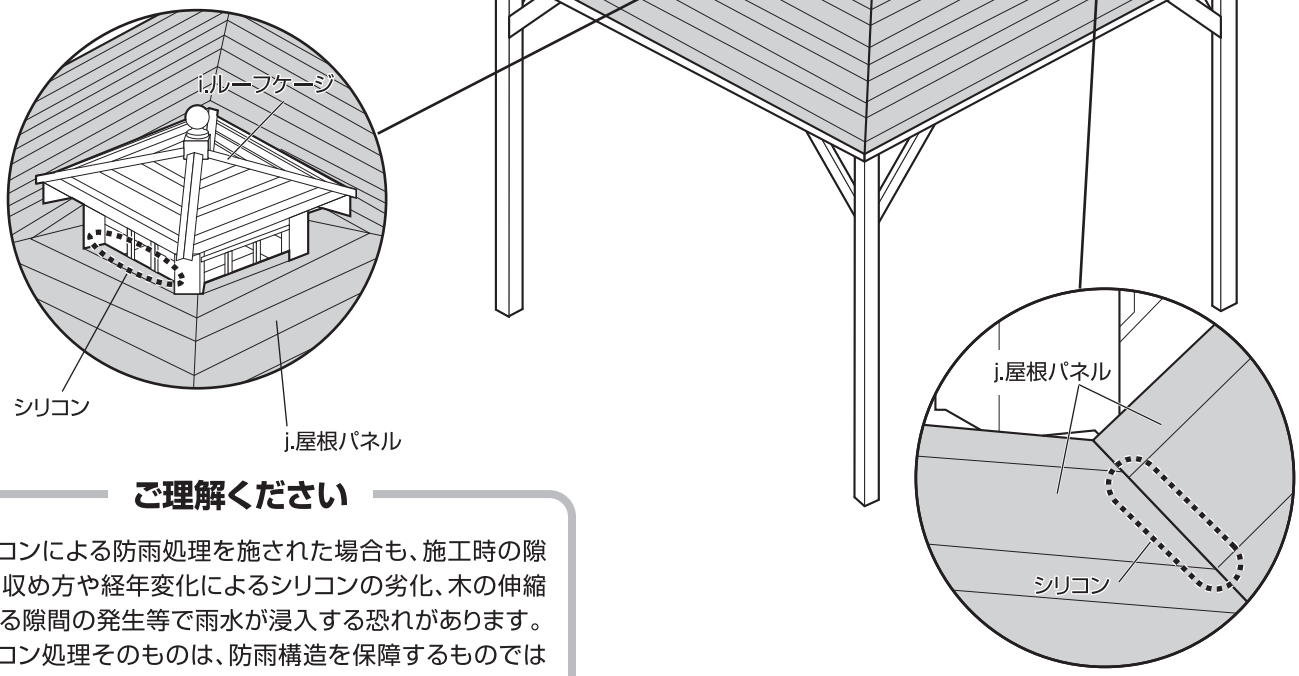




組立・施工

②同様に、屋根パネル（j）を取り付け、境界をシリコン（現場用意）で固定します。（計4面）【図Ⓝ】
③ルーフケージ（i）と屋根パネル（j）の境界をシリコンで固定します。

図Ⓝ



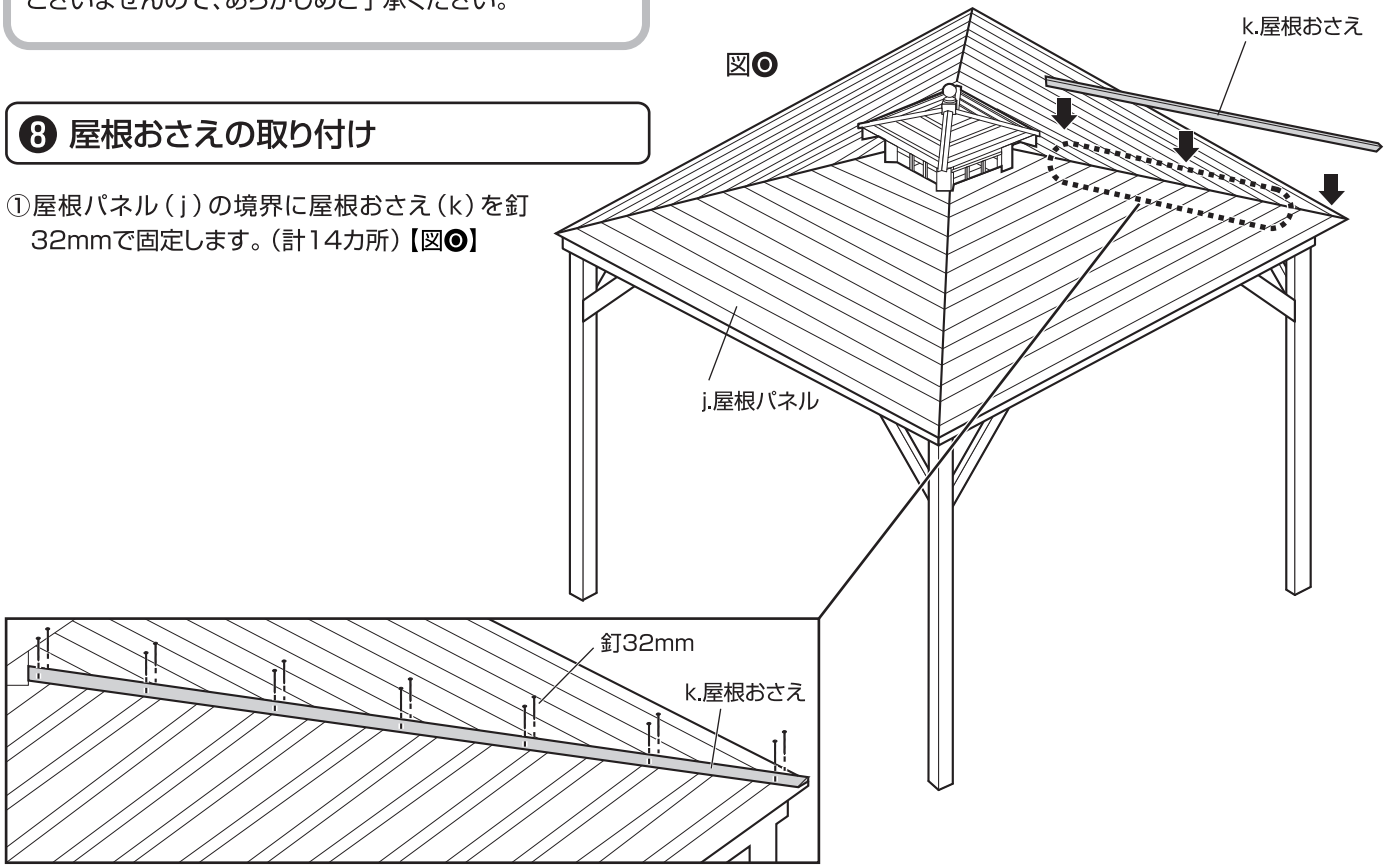
ご理解ください

シリコンによる防雨処理を施された場合も、施工時の隙間の収め方や経年変化によるシリコンの劣化、木の伸縮による隙間の発生等で雨水が浸入する恐れがあります。シリコン処理そのものは、防雨構造を保障するものではございませんので、あらかじめご了承ください。

⑧ 屋根おさえの取り付け

①屋根パネル（j）の境界に屋根おさえ（k）を釘32mmで固定します。（計14カ所）【図Ⓞ】

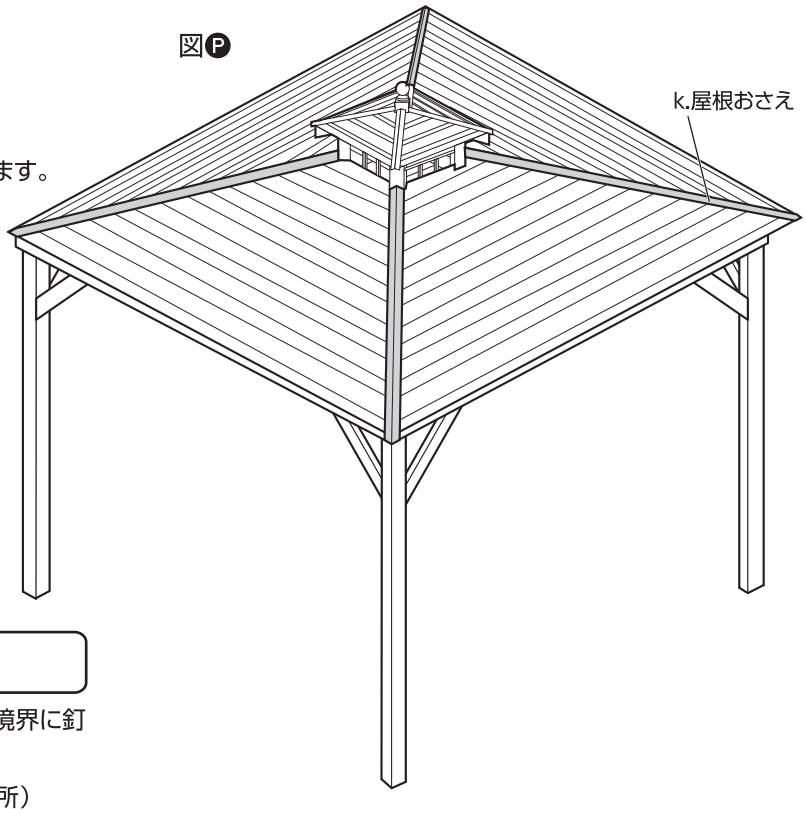
図Ⓞ



組立・施工

②同様に、すべての屋根おさえ（k）を屋根に取り付けます。
（計4カ所）【図Ⓟ】

図Ⓟ

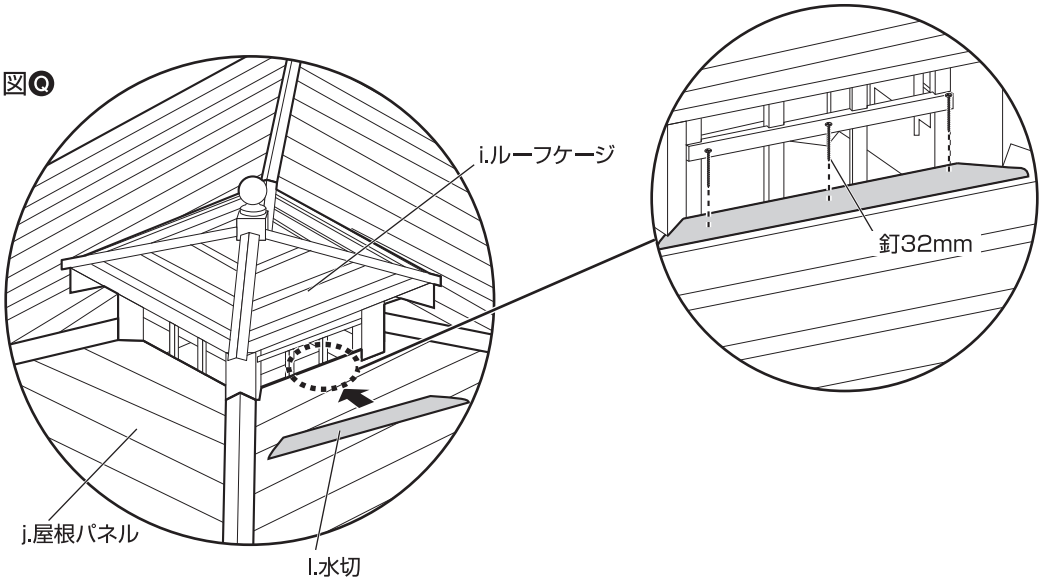


❾ 水切の取り付け

①水切（l）を、ルーフケージ（i）と屋根パネル（j）の境界に釘32mmで固定します。（計3カ所）【図Ⓠ】

②同様に、すべての水切（l）を取り付けます。（計4カ所）

図Ⓠ



❿ 基礎に打設します

屋根の水平と柱の垂直を確認後、仮押さえをした状態で基礎にコンクリートを流し込み固定します。